

2012年 わが国と世界の

9月

革新的エネ・環境 戦略が決定

▽三日 保安院が泊1・2、高浜3・4、川内1・2のストレステスト一次評価審査結果を発表

▽六日 民主・エネ環境調査会が「原子力ゼロ社会を目指す」提言発表

▽十一日 学術会議が高レベル廃棄物処分提言発表

▽十四日 革新的エネ・環境戦略が決定

▽十七日 IAEA総会がウイーンで開幕

▽十八日 規制委員会が足に伴い安全委廃止

▽十九日 原子力規制委員会・規制庁が足元▽エネ・環境政策に関し「不

7月

工 政 策 国民的議論へ

選定へ(十八日)、リトアニア国会が原発建設法案を承認(二十一日)、インドのシェン氏WANO東京センター議長に吊り込み(三日)、米議院下院がユッカマウンテン計画の審査に予算(六日)、アレバ社がガス拡散法濃縮工場閉鎖(七日)、中国が陽江3で丸天井を設置(十日)、米国でニュースタート電力連合が解散(十一日)、ECがリトアニアのビザギナス計画に肯定的な意見書(十二日)、ウエスチングハウス社、対印輸出で予備交渉開始(十三日)、EDFエナジー社が英国の新設計画で土木業者を

断の検証「見直し」との閣議決定▽原発が再処理工場しゅん工時期を二年延期

▽二十一日 公取委が電力市場の競争のあり方で提言

▽二十六日 規制委員長がストレステストで再稼働の判断はしない旨発言

海外 WNA次期事務局長にリーシング氏(六日)、スペイン最古のガローニヤ原発二〇一三年七月閉鎖へ(七日)、UAE原子力導入計画で緊急対応計画策定へ(九日)、露・ASE社が中止計画の補償を要求(十日)、WNA年次シンポジウムがロンドンで開幕(十二日)、中国EPR台山2で丸屋根設置(十二日)、ベルギーのチアン

8月

大 政 策 戦 列 復 帰

▽二十九日 エネ・環境会議が選定案を決定

海外 中国初のEPRとなる台山1で圧力容器吊り込み(三日)、米議院下院がユッカマウンテン計画の審査に予算(六日)、アレバ社がガス拡散法濃縮工場閉鎖(七日)、中国が陽江3で丸天井を設置(十日)、米国でニュースタート電力連合が解散(十一日)、ECがリトアニアのビザギナス計画に肯定的な意見書(十二日)、ウエスチングハウス社、対印輸出で予備交渉開始(十三日)、EDFエナジー社が英国の新設計画で土木業者を

買収し最大規模のエンジニアリング会社に(三十日)、スウェーデンのバツテンフォル社が原子炉の代替構想申請(三十一日)、韓国二三基目の原子力発電所である新古里1が営業運転(三十一日)

▽十四日 政府がベトナムと原賠制度整備協力で時停止決定(七日)、閉鎖の燃料転用でウイルフア1二〇一四年まで運転へ(九日)、ベラルーシ導入計画着工で記念力プセル(十日)、ベルギーのドール3圧力容器亀裂に関する技術会合(十六日)、ダリントン2基増設でカナダ4半世紀ぶりのサイト準備許可(十七日)、米大統領選でロム

11月

動きつつある 世界のエネ政策

▽二日 エネ環境会議、北海道電力が7%以上の今冬の道内節電要請発表

▽七日 東電電力が再生力のホライズン社を買収、ABWR型式認証後、二十年代前半に建設に向け副大臣会合開催

▽十五日 産業界による原子力安全推進協会設立

▽十六日 衆院解散

▽二十二日 原燃、東北電力、リサイクル燃料三社が北半島海域の地質調査実施を発表

▽二十七日 エネ・環境会議、原子力人材強化策善を指示(二日)、リトアニア首相候補がビザギナス破棄表明(四日)、韓国、部品の品質保証偽造で豊光5、6号機年末まで運転停止(五日)、二日) 事故調フォロアップ会合始動▽六ヶ所再処理工場がガラス固化試験開始

▽七日 事故調フォロアップ会合始動▽六ヶ所再処理工場がガラス固化試験開始

▽十日 規制委員有識者会合が敦賀敷地内破砕帯調査で見解

▽十一日 原電が敦賀破砕帯調査で規制委に公開

▽二十四日 規制委員会人事案が閣議決定

▽二十八日 政府有識者、エネ・環境政策の国民議論で検証開始

海外 UAEが豪州と約の特別会合開幕(二十七日)、IAEA安全条約の特別会合開幕(二十七日)、プエルリャが増設炉ハイブリッド化構想で米規制委が認可発給の一時停止決定(七日)、閉鎖の燃料転用でウイルフア1二〇一四年まで運転へ(九日)、ベラルーシ導入計画着工で記念力プセル(十日)、ベルギーのドール3圧力容器亀裂に関する技術会合(十六日)、ダリントン2基増設でカナダ4半世紀ぶりのサイト準備許可(十七日)、米大統領選でロム

12月

規制委地質調査 敦賀が議論に

▽一日 規制委が敦賀敷地内破砕帯調査実施(二日)

▽七日 事故調フォロアップ会合始動▽六ヶ所再処理工場がガラス固化試験開始

▽十日 規制委員有識者会合が敦賀敷地内破砕帯調査で見解

▽十一日 原電が敦賀破砕帯調査で規制委に公開

▽十二日 政府有識者、原子力委員見直し方針

海外 英国で二サイトのガス冷却原発の運転期間を七年延長へ(四日)、英国政府が産業界と共同で原子力供給チェーン行動計画を策定(六日)、英規制庁、型式認証でEPR設計を承認(十三日)、ハンガリーのバクシュ1号機で運転認可が二十年延長(十四日)、スペインでサンタマリ